● 北九州市　中小企業支援情報 ●　Ｖｏｌ．２７２（毎月１日発行）

ネットワーク北九州

2010. 8
NETWORK KITAKYUSHU

平成22年度 第１回 自動車産業新規参入・取引拡大セミナー

～グローバル企業間の競争激化と中小企業発のエコの取り組みをテーマに！～

北九州市は、去る６月３０日（水）北九州国際会議場において、「自動車産業新規参入・取引拡大セミナー」を開催しました。

今回は、本年４月、北九州市の自動車産業振興の顧問に就任した日産自動車㈱の高橋忠生特別顧問と、仙台市で産学連携による電気バス開発に取り組んでいる工藤電機㈱の工藤治夫会長にご講演いただきました。

高橋顧問は、自動車産業の現状を分析した上で、中国やインドなどの需要増が見込めることから、今後は国対国というよりも、グローバル企業同士の競争になることや、そのような状況の中で、日本企業はモノづくりの強みを活かしながらグローバル化することの重要性について力説されました。

工藤会長は、「中小企業には、大企業との取引だけに依存するのではなく、時代の趨勢を感じ取りながら、将来への準備を怠らないしたたかさと柔軟さが必要である」ことを強調され、自社が率先して行った東北大学との連携事業である次世代公共交通システムとしての電気バスの有効性やその開発状況について解説されました。

＜ 日産自動車㈱ 高橋特別顧問 ＞

＜ 工藤電機㈱ 工藤会長 ＞

平成22年度 パーツネット北九州総会　新役員を選出

～㈱デンソー北九州製作所の浅野社長が、新会長に就任～

セミナー終了後、北九州地域で自動車産業への新規参入・取引拡大を目指す企業団体「パーツネット北九州」の平成 22 年度総会が行われました。総会では、役員改選が行われ、新会長に㈱デンソー北九州製作所　代表取締役社長の浅野佳孝氏が選出されたほか、ビジネスマッチング事業の強化などを盛り込んだ平成 22 年度の事業計画等が承認されました。

また、日産自動車㈱九州工場シニアエンジニアの石川聡氏を講師にお招きし、「九州VICTORY購入品の競争力向上の取り組み」をテーマに、地場調達化に向けた日産九州工場の取り組みとともに、今後の部品調達先として中国・韓国等の企業の状況について、ご講演いただきました。

＜ パーツネット北九州　浅野新会長 ＞

◆ 新 役 員 ◆

会　長	浅 野 佳 孝	㈱デンソー北九州製作所	代表取締役社長
副会長	永 田 堅太郎	三島光産㈱	取締役総務部管掌
副会長	松 本 茂 樹	松本工業㈱	代表取締役社長
副会長	石 川 政 禧	石川金属工業㈱	代表取締役会長
監　事	清 永　　誠	㈱戸畑ターレット工作所	代表取締役社長

◆ 会 員 数 ◆

５９社（平成22年6月30日現在）

（参考）パーツネット北九州ホームページ　http://www.kitakyushucci.or.jp/parts-net-k/top.html

【問合せ先】 北九州市　産業経済局　中小企業振興課　担当：沖田・中嶋　TEL：093-873-1433

発行／(財)北九州産業学術推進機構（FAIS）中小企業支援センター　TEL.093-873-1430　FAX.093-873-1450　http://www.ktc.ksrp.or.jp
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2番１号(JR 九州工大前駅北側、北九州テクノセンタービル１階)

◆2010年版中小企業白書「ピンチを乗り越えて」ダイジェスト◆ 後編

今年の中小企業白書の第2部では、中小企業が環境・エネルギー制約への対応、少子高齢化時代の新事業展開といった国内の課題にどのように取り組み、成長していくのかを分析しています。また、アジアを中心とする世界経済の発展を、中小企業の成長にどのように取り込んでいくのかを分析しています

先月に続き、このような課題にチャレンジしている事例企業を白書の中から紹介します。

なお、全文は中小企業庁のHP http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.htm をご覧ください。

事例2-1-16　太陽熱、廃油、バイオマスエネルギー等の新エネルギーを活用した設備機器の開発に積極的に取り組む企業

鹿児島県鹿児島市の富士エネルギー株式会社（従業員16名、資本金1,000万円）は、再生可能エネルギーを活用した設備機器の開発・製造を行う企業である。

同社は、高効率の真空管ソーラーシステム「Fujiヒート P・SOLAR」を開発・製造し、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構の「地域新エネルギー導入促進事業」や「太陽熱高度利用システムフィールドテスト事業」等の支援を受けた企業等において同製品が導入される事例が増えており、第14回「新エネ大賞」の新エネルギー財団会長賞を受賞した。

また、太陽熱だけでなく、廃油活用やバイオマスエネルギー開発にも力を入れており、同社が開発した廃油清浄・燃料化装置「Fuji Oil・エコチェンジャー」は主力製品の一つになっている。現在は、「牛脂から新しいバイオマスエネルギーを作れないか」という発想が、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構の「新エネルギーベンチャー技術革新事業」に採択されて、動物性固形油脂燃料化装置の開発に取り組んでいる。

同社の亘元明社長は、「中小企業が成長するためには、積極的に新しいことに取り組んでいかなければならない。環境産業はこれから成長していく分野であり、中小企業にもチャンスがあると思う。」と、今後もグリーン・イノベーションに積極的に取り組んでいく意向である。また、事業拡大のために人材育成と雇用拡大に注力するとともに、「環境事業を行う企業として、循環型社会の実現に向けて模範となるべきである。」との考えから、2009年に鹿児島県日置市に循環モデル工場とテクノ研究センターを設立・稼動している。

高効率の真空管ソーラーシステム「Fuji ヒート P・SOLAR」

事例2-1-25　ワーク・ライフ・バランスの推進で優秀な人材を確保している企業

東京都渋谷区の株式会社トライアンフ（従業員80名、資本金3,000万円）は、採用代行サービスを中心に、短期間に業績を拡大してきた人事コンサルティング会社である。同社は、コンサルティング事業を拡大するために必要な優秀な人材を確保するために、ワーク・ライフ・バランスを促進するための様々な取組を行っている。

例えば、毎週水曜日は「パパの日」としており、幼児期の子どもがいる男性社員は午後4時で退社し、残業や寄り道等は罰金が課せられる。同制度は、男性社員が家族団らんの時間を持つために実施しており、仕事に対する家族の理解が得られることで、社員の意欲にプラスの効果をもたらしている。また、同社には、子ども用のおもちゃやビデオが用意されている「社内キッズルーム」が設置されている。子どものいる社員は、いつでも社内キッズルームに子どもを連れてくることができ、子どもがいない社員も子どもに暖かく接している。

社内キッズルーム

同社のこれらの取組は、社員同士の助け合いで職場の人間関係のきずなが強まることにより、社員の満足度や生産性の向上につながっている。

事例2-1-32　企業の異分野への進出を積極的に支援する企業

静岡県富士市の株式会社建設システム（従業員185名、資本金4,000万円）は、土木施工管理ソフトメーカーである。同社は、公共事業の削減や資材価格の高騰等によって、同社の取引先である建設会社の経営が厳しい中、今後の建設業の在り方を考えて、農業への参入を決断した。2009年に農業生産法人を設立し、富士宮市で1ヘクタールの農地を確保し、野菜の生産を始めた。

同社では、社員に新規事業案を募集し、その提案を踏まえ、新分野への進出を決定した。2008年には、三重県の農家から土作りの指導を受け、山梨県の農業生産法人から農業経営ノウハウと農作業を学び、2009年には農業ビジネスに関する大学講座を受講するなど、農業参入にあたっては十分な準備を積み重ねてきた。2009年末から実験的に栽培した野菜を近隣の農家に提供したところ、大変好評であり、2010年1月から地元のスーパーへ出荷を開始した。食の安全に関心が高い消費者の有機・低農薬野菜へのニーズに応えるため、土壌消毒剤、除草剤、化学肥料を使用しない有機農業を目指しており、将来は日本農林規格に基づく有機JASの認定を受けようとしている。

同社は、国土交通省委託事業「建設業と異分野のコラボレーション促進支援事業」において、建設事業者の農業参入支援企業に登録しており、今後は、自社の経験を活かして、コンサルテーションや農業の計画管理ソフトの開発等により、建設業の農業分野への進出を支援していく予定である。

有機野菜の収穫風景

平成 22 年度「販路開拓支援プロジェクト」の支援企業・製品紹介 ②

中小企業支援センターでは、「販路開拓支援プロジェクト」として、独自の技術や製品を持つ北九州市内の中小企業者を対象に、営業戦略構築から営業ルートの開拓まで一貫した支援を行っています。
シリーズで紹介している第2回目は、九州工業大学発のベンチャー企業の株式会社ブラテックです。

PC/携帯通販サイト構築支援サービス「BRAEC（ブレイク）」

今回当社が開発した製品は、通販サイト運営事業者向けのものです。画面の小さい携帯での通販商品を魅力的、効果的にPRでき、既存の携帯通販サイトにはない直感的な操作が売りです。従来型の縦スクロール不要なタイプで、携帯電話のパネルに触れることで快適に操作でき、「Flash（音声や動画やアニメーションを組み合わせたコンテンツ）」を使った商品紹介で高級感を演出できます。
携帯通販で費用対効果の高いシステム投資を検討されている方にお薦めです。

株式会社ブラテック　担当者：代表取締役　岩崎　正明　URL：http://www.bratech.co.jp
北九州市若松区ひびきの 1-8 事業化支援センター 309 号　TEL：093-695-3477
【事業内容】Webシステム開発、アカデミックソリューション、サーバ構築・メンテナンス

「実践起業塾　創業スタートアップセミナー」『資さんうどん』の大西社長が起業の経験を語る

去る6月5、6日に開催された「実践起業塾　創業スタートアップセミナー」では、先輩起業家として「資さんうどん」の大西章資（しょうじ）社長をお迎えし、ご自身の創業経験を通じて経営者が心がけるべきこと等について、講演をしていただきました。

【創業は家電修理業。 縁あってうどん店を経営】
おかげさまで「資さんうどん」は市内に30店舗を構え、今年に入ってからは福岡地区にも進出しています。
意外に思われるかもしれませんが、私の創業は家電修理を中心とした電器店でした。当時はまだ真空管だったテレビの修理で訪問した際には、必ず蛍光灯の拭き掃除をして帰るなど、きめ細やかなサービスに徹することで、大手メーカーの系列店がひしめく中でも顧客の高い支持を得ていました。

その後、知人が手放そうとしていた戸畑区のうどん店を譲り受けたことを契機に、うどん店を経営することになります。

【「おいしさ」を求めて】
赤字だった店を引き継いだわけですから、そのままでは利益は出ません。うどんに関しては全くの素人であった私が、まず着手したのがスープの研究でした。
納得できるスープを生み出すため、毎日深夜まで試行錯誤を繰り返し、お客さんにも感想をいただきながら改良を重ねるなど、悪戦苦闘の日々が続きましたが、なかなか成果に結びつきません。
ある日、お客さんから「おいしかった。この味だったら明日も来たい。」と言われ、ようやく満足できる味に到達しました。スープの味だけは、この時以来一度も変えていません。
その後も「じゃんぼいなり」や「ぼた餅」などの人気メニューを妻と二人三脚で開発してきました。

【経営者は顧客サービスの追求と商品の研究を怠るな】
その後、飲食業界の激戦地区での出店競争の中で順調に店舗数を増やしてきましたが、同時に「従業員の生活を守る」という経営者としての大きな責任も背負うことになりました。
電器屋でもうどん屋でも、商売の基本は同じです。
お客さんに喜んでいただくための工夫（サービス）と、研究を怠らず努力を続ける姿勢、経営者は常にその先頭に立つべきです。これから創業を目指す方々は、こうした苦労をいとわずにできる資質のある者にしか商売はできないということを肝に銘じて下さい。

【問合せ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課
担当：森・城戸　TEL：093-873-1433

大規模展示会等出展支援事業の助成企業６社が決定！！

北九州市は、平成22年度の「大規模展示会等出展支援事業」として、独自開発製品を東京ビッグサイト等で開催される大型展示会に出展する中小企業6社を決定しました。　【問合せ先：北九州市中小企業振興課　TEL：093-873-1433】

企業名（所在地）	出展製品名／出展展示会	出展製品の概要
㈲小倉クリエーション（小倉北区）	小倉織「縞縞　SHIMA-SHIMA」／インテリアライフスタイル東京（東京ビッグサイト）	伝統工芸である小倉織を機械織で復元・商品化した丈夫でしなやかな綿織物。
㈱フジコー（戸畑区）	MaSSC シールドタイル及び MaSSC クリーン／第 32 回ジャパンホームショー＆ビルディングショー（東京ビッグサイト）	光触媒と抗菌金属とのハイブリッドによる高殺菌材料〔MaSSC（マスク）〕を用いた、室内光で殺菌・消臭ができるタイルや空気清浄機。
㈱豊光社（小倉北区）	省エネ照明灯具「solana」（ソラナ）／第 3 回次世代照明技術展（東京ビッグサイト）	液晶 TV 等で使用される、明るく長寿命な冷陰極管「CCFL」を二重構造にした省エネ照明灯具。
㈱松島機械研究所（八幡西区）	パルスレーダ式マイクロ波レベル計／国際粉体工業展東京　2010（東京ビッグサイト）	国産初のパルスレーダ式マイクロ波レベル計。タンクやサイロに貯蔵された内容物の貯蔵量等を計測する機器。
㈲マリンテック（若松区）	船舶用 LED 照明　ML　Lights「新型 LED 電球」／ジャパン・インターナショナル・ボートショー 2011（パシフィコ横浜）	高輝度 LED を搭載した防水型集魚灯、水中灯、投光器等。
安田工業㈱（八幡東区）	スーパーエルエル釘／第 17 回建築・建材展 2011（東京ビッグサイト）	釘頭面積を約 2 倍にし、釘胴部にスクリューリング加工を施した木造耐力壁合板止め付け用耐震釘。

インドネシアビジネスセミナー開催

北九州産業学術推進機構（FAIS）は、北九州市貿易・投資ワンストップサービスセンター（北九州市貿易振興課、ジェトロ北九州、北九州貿易協会）と共催で、「インドネシアビジネスセミナー」を下記のとおり開催します。

※日時：8月20日（金）15：00～17：00（質疑応答含む）
※場所：アジア太平洋インポートマート8階 KTI小ホール
（小倉駅北口から徒歩5分、北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号）
※講師：①三菱東京UFJリサーチ＆コンサルティング
株式会社　副主任研究員　佐々木　創　氏
②中川化学装置株式会社　代表取締役　中川　武　氏
※テーマ：本市企業のインドネシアにおける活躍の可能性、現地企業との取引における留意点
※定員：50名（先着順）
＊セミナー終了後、個別相談会も開催します。
◆申込期限：8月 17 日（火）
◆申込方法：下記の申込先に FAX か電話でお申込下さい。（詳しくは折込チラシをご覧下さい）。
◆申込先：北九州市産業経済局貿易振興課
（担当：毛利、安武）TEL:093-551-3605
FAX:093-551-3615

『ひびしんビジネスフェア 2010』出展企業を募集します！

福岡ひびき信用金庫では、「中小企業応援センター事業」の一環として、北九州地区の中小企業のビジネスチャンス創造の一助となることを目的に、昨年に続き『ひびしんビジネスフェア2010』を下記のとおり開催します。
今回のフェアは昨年の約2倍の規模を予定しており、ブース出展企業を募集します。

＜ひびしんビジネスフェア2010＞
日時　平成22年11月16日（火）10時 ～ 16時
会場　西日本総合展示場 新館A・B展示場
（北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号）
【ひびしんビジネスフェア公式サイト】
http://www.fukuokahibiki.jp/

＜募集要項＞
（1）参加条件　北九州市内および近郊に事業所を有する中小企業
（2）募集企業数　約200社
（3）出展料　2万5千円
（4）申込期限　平成22年8月10日（火）
（5）申し込み先　最寄りの福岡ひびき信用金庫各店舗

【問合せ先】「ひびしんビジネスフェア2010」実行委員会事務局　担当：入江、神野
（福岡ひびき信用金庫　業務部内）　TEL093－661－2414

この紙は再生紙を使用しています。